

2025年8月4日

各位

会社名 株式会社メタプラネット
 代表者名 代表取締役社長 サイモン・グロヴィッチ
 (スタンダード市場 コード: 3350)
 問合せ先 IR部長 中川 美貴
 電話番号 03-6772-3696

ビットコインの追加購入に関するお知らせ

当社は、ビットコイントレジャー事業の一環として、下記のとおりビットコインを追加購入いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. ビットコインの追加購入について

ビットコイン購入枚数:	463 ビットコイン
平均購入価格:	17,268,320 円/1 ビットコイン
購入総額:	79 億 9500 万円
ビットコイン保有枚数:	17,595 ビットコイン
平均購入価格:	14,849,528 円/1 ビットコイン
購入総額:	2,612 億 7700 万円

2. BTC イールド、BTC ゲイン、及びBTC 円ゲイン

既にお知らせのとおり、BTC イールドとは、当社のビットコイン保有総額と完全希薄化発行済普通株式数の比率が比較対象期からどのように増減したかを変化率で表す経営指標 (KPI) です。当社は、株主価値の増大を目的としたビットコイン取得戦略のパフォーマンス評価にBTC イールドを採用しています。

BTC ゲインは、一定期間における、期間当初に当社が保有していたビットコインの総保有有高に当該期間のBTC イールドを乗じて表すKPIです。この指標は、新株が発行されなかったと仮定した場合のビットコイン総保有有高の増加を表します。希薄化の影響を排除することで、BTC ゲインは、当社の財務戦略のみによってもたらされたビットコインの純増分を数値化します。

BTC 円ゲインは、BTC ゲインの円換算額を表すKPIです。BTC ゲインに、該当期間の最終日のビットコインの市場価格を乗じて算出されます。これにより、株主及び投資家は現地通貨建ての財務上の影響をより明確に把握することができます。

2024年7月1日から2024年9月30日までの当社のBTC イールドは41.7%でありました。2024年10月1日から2024年12月31日までの当社のBTC イールドは309.8%でありました。2025年1月1日から2025年3月31日までの当社のBTC イールドは95.6%でありました。2025年4月1日から2025年6月30日までの当社のBTC イールドは129.4%でありました。2025年7月1日から2025年8月4日までの当社のBTC イールドは24.6%となっております。

	2024年 9月30日	2024年 12月31日	2025年 3月31日	2025年 6月30日	2025年 8月4日
ビットコイン保有総額	398.832	1,761.98	4,046	13,350	17,595
発行済普通株式(1)	181,692,180	362,683,400	459,823,340	654,714,340	692,914,340
完全希薄化後発行済株式数(1)	454,201,850	489,604,170	574,779,175	826,567,925	874,317,925

完全希薄化発行済株式1株当たりビットコイン(2)	0.0008781	0.0035987	0.0070392	0.0161511	0.0201243
BTC イールド (%、四半期累計)	41.7%	309.8%	95.6%	129.4%	24.6%
BTC ゲイン(四半期累計)	59	1,236	1,684	5,237	3,284
BTC 円ゲイン(百万円、四半期累計)(3)	¥984	¥20,666	¥28,174	¥87,598	¥54,929
BTC/円 参照価格(4)	¥16,725,794	¥16,725,794	¥16,725,794	¥16,725,794	¥16,725,794

注：

- 完全希薄化後発行済株式数は、(i) 発行済普通株式総数、(ii) 転換社債の転換が仮に行われた場合の潜在株式数、(iii) 発行済ストックオプションの行使による潜在株式数、(iv) 権利行使された新株予約権による株式数、で構成され、それぞれの日付時点におけるものです。米国市場の報告基準に合わせるため、行使価格修正条項付新株予約権は、潜在的な株式の希薄化をより正確に反映させるために、行使後のみ含めることとします。さらに、At-The-Market (ATM) 株式発行の報告基準との整合性を保つため、ビットコイン購入のために発行された割引率 0%の新株予約権は、行使後に売却代金が当社に支払われた時点で、初めて完全希薄化後株式数に反映されます。この手法は、米国における ATM 株式発行を用いた希薄化の測定方法と一致しているため、割引率 0%の新株予約権の希薄化を最も正確かつ公平に測定できると考えています。なお、8月4日時点の発行済普通株式数および完全希薄化後発行済株式数は、8月1日時点の数値に基づいております。本開示日に新株予約権が行使された場合には、これらの数値は変動する可能性があります。
- 完全希薄化発行済株式1株当たりビットコインは、ビットコイン保有量合計を各表示日時点の完全希薄化発行済株式数で除して計算されます。その結果を1,000倍して、1,000株当たりのビットコイン数を表しております。
- BTC 円ゲイン(四半期累計)は、下記注記4に定義されるBTC/円参照価格にBTCゲインを乗じて計算されます。すべての期間において一貫した基準レートを適用することで、比較可能性が確保され、株主にとっての当該期間のBTCゲインの現在の円建て価値が反映されます。
- BTC/円参照価格は、Bitflyerで公表されている最新の終値であり、以下のURLに掲載されています：<https://bitflyer.com/en-jp/s/closing-price>
- この表のすべての株式数の数値は、2025年4月1日に実施された10株を1株に併合する株式分割を反映して調整されています。BTC イールドの数値は、株式分割の影響を受けないため、変更されていません。

3. 当社の資本市場における活動について

2025年12月期第3四半期開始前までに実施された資本市場における活動の詳細については、2025年6月30日付「ビットコインの追加購入に関するお知らせ」をご参照ください。

2025年7月4日、当社は、2025年6月30日に発行された第19回普通社債(総額300億円)のうち、60億円をEVO FUNDに対し一部早期償還し、さらに2025年7月14日に67.5億円を追加で償還しました。両償還は、債券の条項に従い、2025年6月30日付「資金用途の変更に関するお知らせ」で開示のとおり、第20回の新株予約権の行使による資金で賄われました。

その後、第20回新株予約権は複数回に分けて行使され、2025年7月10日に9,000,000株、2025年7月14日に9,000,000株、2025年7月24日に5,400,000株、2025年7月28日に2,000,000株、2025年7月31日に3,000,000株、2025年8月1日に1,700,000株がそれぞれ行使されました。

4. ビットコインの保有状況について

2025年8月4日現在、当社は、2024年12月18日付で当社の正式な事業となったビッ

METAPLANET

トコイントレジャー事業の一環として、蓄積されたビットコイン総保有高について、以下の詳細を公表しています。当社は、資本市場活動および営業収益からの資金による買い増しを通じて、戦略的にビットコイン総保有高を増やしてきました。以下の表は、主要な報告期間における当社のビットコイン総保有高と、それに対応する手数料および経費を差し引いた総取得原価の概要を示しています。

日付	ビットコイン 保有総枚数	総コストベース	購入平均価格
2025-08-04	17,595	2612億7700万円	14,849,528円
2025-07-28	17,132	2532億8200万円	14,784,159円
2025-07-14	16,352	2396億1600万円	14,653,636円
2025-07-07	15,555	2258億1800万円	14,517,416円
2025-06-30	13,350	1913億3200万円	14,331,959円
2025-06-26	12,345	1756億8400万円	14,231,184円
2025-06-23	11,111	1564億1200万円	14,077,243円
2025-06-16	10,000	1391億5200万円	13,915,230円
2025-06-02	8,888	1222億6900万円	13,756,658円
2025-05-19	7,800	1053億8400万円	13,510,831円
2025-05-12	6,796	901億9000万円	13,270,989円
2025-05-07	5,555	717億6300万円	12,918,667円
2025-04-24	5,000	640億9100万円	12,818,168円
2025-04-21	4,855	621億6500万円	12,804,361円
2025-04-14	4,525	581億4500万円	12,849,780円
2025-04-02	4,206	543億6600万円	12,925,927円
2025-03-31	4,046	523億6800万円	12,943,181円
2025-03-24	3,350	422億1500万円	12,601,802円
2025-03-18	3,200	403億3100万円	12,603,303円
2025-03-12	3,050	384億5200万円	12,607,094円
2025-03-05	2,888	364億4400万円	12,619,066円
2025-03-03	2,391	298億2800万円	12,475,149円
2025-02-25	2,235	278億8000万円	12,441,856円
2025-02-17	2,031.41	248億7200万円	12,243,936円
2024-12-23	1,761.98	208億7200万円	11,846,002円
2024-11-18	1,142.287	113億7200万円	9,955,874円
2024-10-28	1,018.170	96億2200万円	9,450,746円
2024-10-16	861.387	80億2200万円	9,313,428円
2024-10-15	855.478	79億6500万円	9,310,061円
2024-10-11	748.502	69億6500万円	9,304,655円
2024-10-07	639.503	59億6500万円	9,326,856円
2024-10-03	530.717	49億6500万円	9,354,425円
2024-10-01	506.745	47億5000万円	9,373,557円
2024-09-10	398.832	37億5000万円	9,402,463円
2024-08-20	360.368	34億5000万円	9,573,556円
2024-08-13	303.095	29億5000万円	9,732,933円
2024-07-22	245.992	24億5000万円	9,959,687円
2024-07-16	225.611	22億5000万円	9,972,933円
2024-07-08	203.734	20億5000万円	10,062,517円
2024-07-01	161.268	16億5000万円	10,231,438円
2024-06-11	141.073	14億5000万円	10,278,391円

2024-05-10	117.722	12 億円	10,193,536 円
2024-04-23	97.850	10 億円	10,219,526 円

5. BTC イールド、BTC ゲイン、及び BTC 円ゲインに関する重要情報

BTC イールドは、当社のビットコイン保有総額と完全希薄化発行済株式数の比率の前四半期比の変化率を反映する主要経営指標です。当社は、株主の皆様には有益となる手段でビットコインを取得していく戦略の遂行実績を評価するのに役立つ KPI として BTC イールドを使用してまいります。

BTC ゲインは、一定期間における、期間当初に当社が保有していたビットコインの総保有高に当該期間の BTC イールドを乗じて表す KPI です。この指標は、新株が発行されなかったと仮定した場合のビットコイン総保有高の増加を表します。希薄化の影響を排除することで、BTC ゲインは、当社の財務戦略のみによってもたらされたビットコインの純増分を数値化します。

BTC 円ゲインは、BTC ゲインの円換算額を表す KPI です。BTC ゲインに、該当期間の最終日のビットコインの市場価格を乗じて算出されます。これにより、株主及び投資家は現地通貨建ての財務上の影響をより明確に把握することができます。BTC 円ゲインは、当社のビットコイン保有高の時価評価による損益を表すものではなく、当社のビットコイン保有高に時価評価損失が発生した場合でも、プラスになることがあります。

本指標において、完全希薄化後発行済株式数には、各期末時点における実際の発行済普通株式総数に、ストックオプションの行使、新株予約権の行使、または転換社債などの転換可能金融商品が将来発行された場合にその転換により発生する可能性のある潜在株式数が含まれます。At-The-Market (ATM) 株式発行の報告基準との整合性を保つため、ビットコイン購入のために発行された割引率 0% の新株予約権は、行使後に売却代金が当社に支払われた時点で、初めて完全希薄化後株式数に反映されます。この手法は、米国における ATM 株式発行を用いた希薄化の測定方法と一致しているため、割引率 0% の新株予約権の希薄化を最も正確かつ公平に測定できると考えています。

BTC イールドは、行使価格修正条項付新株予約権以外のストック・オプションや新株予約権に付随する権利確定条件や行使価格などの要素は考慮していません。当社は、株主に利益をもたらすと考える方法でビットコインを取得する戦略のパフォーマンスを評価するのに役立つ KPI としてこの BTC イールドを採用してまいります。当社は、この KPI により、普通株式または普通株式に転換可能な商品を追加発行してビットコインの購入資金を調達するという当社の決定に対する投資家の理解を促進するために役立つと考えております。

これら 3 つの KPI を採用するにあたり、経営陣は、発行済普通株式より優先される負債およびその他の負債を考慮していないこと、また、すべての負債が借り換えられるか、または将来転換される可能性のある負債の場合には、その条件に従って普通株式に転換されることを前提としていることなど、その限界を認識しております。

さらに、これらの KPI は、営業実績、財務実績、または流動性の指標となることを意図しておらず、またそのように解釈されるべきでもありません。具体的には、BTC イールド、BTC ゲイン、及び BTC 円ゲインは伝統的な財務の「利回り」の定義には相当しません。また、当社の事業または保有するビットコインによって生み出される収入、ビットコイン投資のリターン、またはその他の類似の財務業績指標を反映するものでもありません。当社普通株式の市場価格は、当社が保有するビットコイン数および実際の発行済み株式数または潜在的株式数以外の多くの要因の影響を受けます。そのため、当社株式は保有ビットコインの市場価値と比較してディスカウントまたはプレミアムで取引される可能性があり、これらの KPI は当社普通株式の取引価格を示唆または予測するものではありません。

前述のとおり、これらの KPI は特定の目的を果たすものであり、ビットコインを取得するために自己資本を使用することが株主にとって有益かどうかを評価するために、経営陣がビットコインの保有に関してのみ利用するものです。これらの KPI の計算においては、ビットコインの購入に使用された資金源の類は考慮しません。当社は、2024 年 8 月 6 日付の開示で発表した株主割当増資を含め、様々な資金調達活動からの資金を使用してビットコインを取得していることに留意する必要があります。将来、転換社債やその他の負債証券が発

METAPLANET

行される可能性がある場合、関連する負債を考慮せずにこれらの KPI に影響を与える可能性があります。ビットコインの購入の全てが株式発行を通じて資金調達されるわけではなく、また全ての株式発行がビットコイン買収につながるわけでもないため、この指標は、ビットコイン購入における当社の株式資本の使用がどの程度増価的であるかを過大評価または過小評価する可能性があります。

当社はこれまで普通株式に対して配当金を支払っておらず、これらの KPI を提示することによって、将来的に配当金を支払う意向を示しているわけではありません。また、当社の普通株式を所有することは、当社が保有するビットコインの権益を所有することと同じではありません。投資家は、当社が東京証券取引所に提出した財務諸表およびその他の開示情報に基づいて投資判断をしていただくようお願い申し上げます。これらの KPI は補完的なものであり、代替的なものではありません。これらの KPI は、その具体的な目的と様々な制約を理解した投資家が利用すべきものであります。

以 上